

平成20年度

一般会計予算

58億4,500万円

(前年度比・3.5%2億1,500万円減)

会計名	平成20年度予算額	平成19年度予算額	前年比(%)
国民健康保険	9億8,400万円	10億4,500万円	減 5.8
老人保健	6,097万円	7億800万円	減 91.3
後期高齢者医療	9,570万5千円		皆増
介護保険	6億4,650万2千円	6億3,737万6千円	1.4
下水道	10億3,240万9千円	10億2,595万4千円	0.6

会計名		平成20年度予算額	平成19年度予算額	前年比(%)
水道事業	収益的収入	4億 404万6千円	4億2,127万6千円	減 4.0
	収益的支出	3億8,056万9千円	4億 701万5千円	減 6.5
	資本的収入	3,246万2千円	5,580万4千円	減 41.8
病院事業	資本的支出	2億 995万7千円	2億3,548万4千円	減 10.8
	収益的収入	1億2,754万1千円	9億9,697万5千円	減 87.2
	収益的支出	1億8,735万4千円	10億5,886万7千円	減 82.3
	資本的収入	1億 986万4千円		皆増
	資本的支出	1億5,986万4千円	2,875万円	456.0

特別会計

企業会計

一般会計当初予算審査特別委員会報告

委員長 今村定一

平成20年度当初予算8議案について、4日間の審査を行った結果「可決すべきもの」と決定いたしました。担当所管ごとの質疑の主な内容は次の通り報告致します。

総務課 一般会計

- Q**：特別交付税は今後事業を定めたなかで交付されるのか。また、除排雪経費はどうなるのか。
- A**：平成19年度から頑張る地方応援プロジェクト事業ということで特別交付税に500億円の枠が設けられ、この事業は3カ年継続できる。除排雪経費は今までどおり対象になる。
- Q**：職員研修費が180万円計上してある。19年度の話では止めるということではあったが、何をするのか研修は与えられたものでなく、きつかけをつくってやれば、あとは自己研修が大切と考える。
- A**：今後の研修は何をするか決まっていないということではまだ「忙しい」が先にたつて、自己研修という観点では難しい現状にある。180万円のうち50万円は人事考課分、残る130万円が一般研修費。
- Q**：地方公営企業等金融機構出資金とは。
- A**：公営企業金融公庫が廃止されることに伴い、低利で安定的に融資できる機能を持った法人を全ての地方自治体が出資し、設立するものである。
- Q**：消防団の各部の統廃合の進捗状況。(定数420人→400人)
- A**：神立は4部が3部になることはほぼ決定した。湯沢・土樽も会議を持つので3月中には決定する。
- Q**：地域防災計画は丸投げせず、まとめ程度をコンサルに委託するというが、今まで丸投げしていたのか。
- A**：今回は157万5千円計上し、今までは300万円を使っている。過去においても同じように作成して